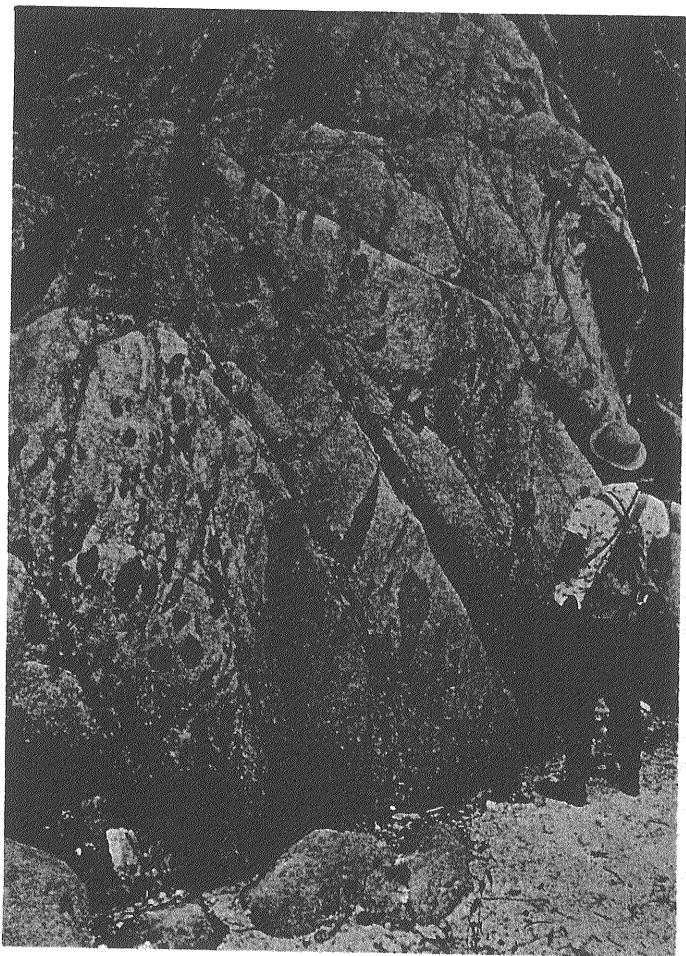


### 包有岩の示す流理構造

南アルプスの北端にある甲斐駒ガ岳 鳳凰山塊は約2,300mに達する大比高をもって甲府盆地にのしかかっている花崗岩山地である。この山地の東麓には西南日本と東北日本の地質学的な境界をなす大きな断層（糸魚川-静岡線）が南北に走っている。

この花崗岩の中には塩基性包有岩塊がかなり濃集している部分があり写真に見るようにそれが定方位配列を示すことがある。これは花崗岩体が侵入してくる時の花崗岩物質の流れを反映していると考えられている。

昭和のはじめ 故大塚弥之助教授はこのような定方位配列などからこの花崗岩体の侵入機構を推定した。大武川流域の調査研究によるとその結論は必ずしも全面的に賛成することはできないが先人のたたいたであろう同じ露頭の前に立つとそぞろ当時の山歩きの辛苦がしのばれるのである。



第9回所内写真コンクール参加作品「包有岩の示す流理構造」地質部 河内洋佑

#### ● 海外旅行

- 燃料部石油課 星野一男技官は コロンビア大学で防災技術の岩石物性学的研究のため 去る12月10日羽田発 1カ年の予定で留学した
- 鉱床部非金属課 上野三義技官は インドネシア国の鉱物資源開発技術援助ならび指導のため 去る12月17日羽田からインドネシア地質調査所へ出発した 期間は1カ年の予定
- 地質部 平山健技官はかねてからイラン国の地質調査所設立の技術援助のため同国テヘランへ出張中であったが 国内資料収集のため 去る12月9日 一時帰国した なお同技官は1月25日再渡航した なおイラン滞在期間は40年10月下旬までの予定

#### ● 留学生の受入れ

- ドイツ連邦地質調査所科学官 ウォルフガング・ザーメス (Wolfgang Sames) 氏は 国際科学技術交流計画に基づき 構造地質学の研究のため 去る年月日米日 地質部で研究中 なお留学期間は本年6月27日までの6カ月間の予定

- 台湾省水利局技士 万献銘 (Wan Hsien-ming) 氏は 日米合同第三国研修計画により 応用地質学の研修のため 去る1月15日来日 地質部で研修中 なお研修期間は3月14日までのカ2月の予定

#### ● あとがき

- ニュースの発行が非常に遅れ読者各位にご迷惑をおかけいたしております いましばらくご猶予下さるようお願いいたします。

#### 地質ニュース

第113号 1月号  
定価 170円

昭和39年1月25日 発行

編集	工業技術院 地質調査所
発行者	林 久 雄
発行所	株式会社、実業公報社
	東京都千代田区九段4の11
	Tel. (331) 7173・9387
	振替口座 東京 33466

総発売元	政府刊行物販売所
	東京都千代田区大手町1の5
	Tel. (211) 5 5 7 0

印刷所	共同印刷株式会社
-----	----------